

中国株式市場におけるリターンリバーサル現象に関する実証分析*

楊 晨^a, 秦 劼^b

要約

本稿は Debondt and Thaler (1985) の研究手法をベースとし、上海 A 株式市場の 8 年間のデータを用いて、リターンリバーサルとモメンタム現象について実証分析を行う。リターンリバーサルに関して有意な結果が得られなかった中国の既存研究と異なり、本稿の結果は中国株式市場に強いリターンリバーサルが存在することを示唆し、Debondt and Thaler (1985) の結果と類似する。ただし、モメンタム現象が存在せず、むしろ検証期間が短いほどリターンリバーサルが顕著である。これらの結果は金融危機等を考慮しても頑健である。

keywords: リターンリバーサル、モメンタム、過剰反応、市場効率性

JEL Classification: G02, G11, G14

*本稿の作成に当たっては、堀敬一教授（立命館大学）及び池田新介教授（大阪大学）から様々な助言をいただいた。記して感謝したい。

^a 立命館大学大学院経済学研究科博士前期課程 2 回生 〒525-0028 草津市上笠 1-25-5
E-mail: nr0064si@ed.ritsumei.ac.jp

^b 立命館大学経済学部教授
E-mail: khata@ec.ritsumei.ac.jp